

# 第三次湖南省総合計画骨子案

## 湖南省の特徴

### 【自然豊かな広域交流のまち】

・南北に阿星と岩根山系、中央に琵琶湖に注ぐ最大天然河川の野洲川、付近に美しい田園風景が広がる自然豊かなまち。大阪、名古屋から100km圏内にあり、国道1号沿いで、栗東・竜王IC、国道8号にもアクセスが良い広域交流拠点のまち

### 【歴史・伝統文化が豊かなまち】

・東海道石部宿、湖南三山など有形の歴史資源、江戸時代に始まり平成6年に再興の近江下田焼、酒蔵などがある伝統文化のまち

### 【多文化共生のまち】

・外国人の居住割合が県内1位で人口の7%を占め、多文化共生のまち

### 【ものづくり（工業）のまち】

・県内最大の湖南工業団地をはじめ、5つの工業団地があるものづくりのまち

### 【障がい者と共に歩む福祉のまち】

・「社会福祉の父」糸賀一雄の近江学園があり、湖南省発達支援システムをもつ福祉のまち

### 【脱炭素に取り組むまち】

・自治体地域新電力会社「こなんウルトラパワー株式会社」があり、「SDGs未来都市」「脱炭素先行地域」に選定されるなど先行的な脱炭素政策に取り組むまち

### 【市民が自らまちをつくる】

・市内に7つの地域まちづくり協議会があり、自分たちのまちは自分たちでつくる基本理念に基づく活動を行うまち

### 【子育てにやさしいまち】

・人口規模に対して保育所施設が充実し、待機児童数は0人の、子どもがのびのびと育つまち

## 第三次湖南省総合計画の骨子（体系と方向性）

### まちづくりの5つの理念

美しい水と緑を大切にし、自然と調和したまちをつくりまします。

たがいの人権を認めあい、思いやりのあるまちをつくりまします。

子どもが健やかに育ち、障がい者や老人をはじめ、誰もが安心して暮らせるまちをつくりまします。

ゆたかな歴史を重んじ、香り高い文化のまちをつくりまします。

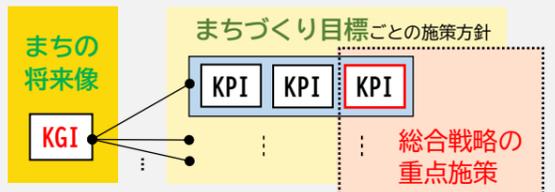
社会の規律を守り、安全で住みよいまちをつくりまします。

### まちの将来像

ずっとここに暮らしたい！  
みんなで創ろう  
きらめき湖南

**KGI**  
総合計画の目標を達成した時の効果を示す、最終的な目標指標です。

### 総合計画に「KGI」と「KPI」を設定します



**KGI** = 最終目標を定量的に評価するための指標

**KPI** = 目標達成に向けたプロセスの進捗状況を定量的に評価・分析するための指標

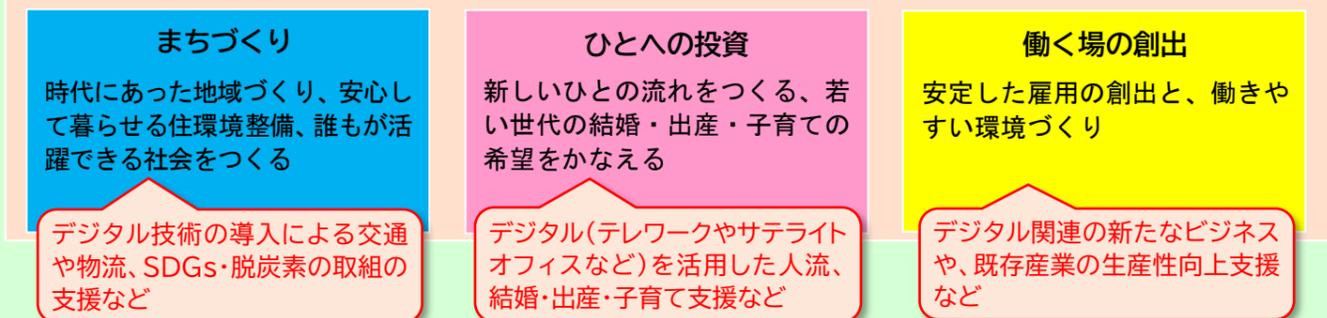
湖南省総合計画では、KGIを「まちの将来像」に、KPIをまちづくり目標ごとの施策方針と総合戦略の重点施策に対して設定します。

### まちづくりの6つの目標

まちづくりの目標	重要な政策テーマ	目指すまちづくりの方向性
みんなで共に進めるしくみをつくろう ～人権尊重と自立・自助、共助のまちづくり～	・地域自治 ・多文化共生 ・人材育成	・多様な人、だれもが参画できるまちづくり ・オール市民で自分たちのまち湖南を創造するまちづくり ・こども・若者が持続可能な社会の創り手として活躍できるまちづくり
うるおいのあるまちをつくろう ～自然を生かし、自然と共生するまちづくり～	・SDGs ・エネルギー ・脱炭素	・先進的な政策で脱炭素に取り組むまちづくり
活気あるまちをつくろう ～産業が集まり、人が集うまちづくり～	・産業振興 ・都市政策 ・産学官連携	・企業が進出したくなる、異業種間交流ができるまちづくり ・公共交通・都市計画・インフラ整備に20年後の視野を持つまちづくり
ほっとする暮らしをつくろう ～生涯を通じた安心と健康のまちづくり～	・こどもまんなか ・防災減災 ・健康福祉	・発達支援システムが充実しているまちづくり ・安心して子育てできるまちづくり ・防災減災を市民とともに進める災害に強いまちづくり ・誰もが健康で若々しく生き活きたした楽しむ人生を送れる健康長寿のまちづくり
いきいきとした暮らしをつくろう ～誇りとなる市民文化を創造するまちづくり～	・地域協働 ・生涯学習 ・文化創造	・学校と地域が協働して豊かな人間性と地域への愛着を育むまちづくり ・地域に根づく歴史や文化が次の世代に継承されるまちづくり
明日を拓くしくみをつくろう ～効率的・効果的な行財政システムづくり～	・行財政改革 ・広域行政	・デジタル技術の導入による行政事務の効率化や施設の最適化を進め、利便性が高くきめ細かな行政サービスが提供されるまちづくり

◎まちづくり目標ごとの各施策方針に対して、**KPI**（施策の効果として得られる目標達成の指標）を設定します。

### 人と地域とまちがデジタル技術でいっそう輝く3つのプラン【総合戦略】



◎総合戦略の重要施策に設定する**KPI**は、まちづくり目標ごとの施策方針のうち、3つの重点プランおよび7つの施策パッケージに該当するものを採用します。

# 湖南省の特徴

## 【自然豊かで分かりやすい地形のまち】

- ・湖南省は、滋賀県南部に位置し、**大阪、名古屋から100km圏内**にあり、近畿圏と中部圏をつなぐ広域交通の要衝に位置しています。市の中央を**国道1号**が通り、名神自動車道の**栗東湖南IC・栗東IC・竜王IC**が近接し、**国道8号**へのアクセスも容易です。広域交通の利便性の高さにより、近年では人・物流の拠点として産業団地開発や企業誘致の**広域交流拠点機能が強化**されています。
- ・地勢としては、南端に**阿星山系**を、北端に**岩根山系**を望み、これらの緑豊かな丘陵地に囲まれ、琵琶湖に注ぐ最大天然河川の**野洲川**が市域の中央を流れており、市民にとって自分たちが住んでいるまちの領域が実感しやすく、地域への愛着が醸成されやすい地形です。
- ・野洲川の沿川一帯は**美しい田園風景**が広がる平野が開け、水と緑に囲まれた自然環境に恵まれた地域であり、**ステゴドンゾウの足跡化石**が出土しています。また、**天然記念物の平松のウツクシマツ自生地**もあり、歴史文化・自然遺産が豊富です。



■ 湖南省の都市環境  
資料) 移住定住サイト (湖南省公式 HP)



■ ウツクシマツ自生地  
資料) 湖南省公式 HP

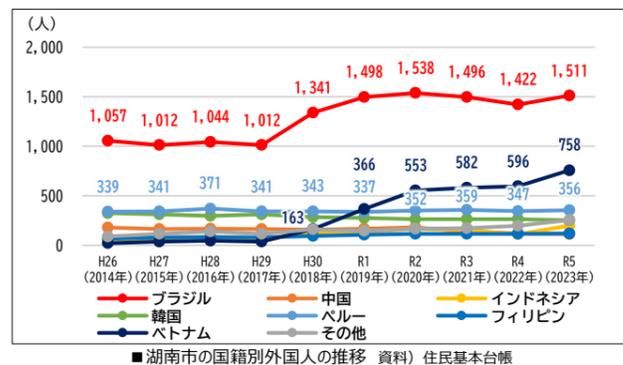
■ 湖南省の自然環境  
資料) 移住定住サイト (湖南省公式 HP)

## 【多文化共生のまち】

- ・湖南省は、**外国人市民**の割合が7%を占めており、県内で**最も割合が高い**まちです。
- ・国籍別の内訳と推移をみると、ブラジル国籍が突出して多く、次いでベトナム国籍、ペルー国籍の順となっており、これら3か国で外国人全体の7割以上を占めています。
- ・湖南省国際協会と連携し、一元的外国人相談窓口を設置し、ポルトガル語と日本語が話せる職員の配置や翻訳機を通して日常生活や労働などの支援を行っています。また、日本語初期指導教室を小学校内で開き、日本語や日本の文化・習慣などを集中的に学ぶ機会を設け、市内の小中学校へのスムーズな転入を支援しています。
- ・国は、令和6年に育成就労制度を新たに創設し、国内で長く活躍する外国人労働者の確保と育成に力を入れています。旧制度（技能実習制度）のシステムでは、外国人市民が短期間で帰国することがほとんどでしたが、新制度では3年間の在留期間の設定や労働者としての権利保護を行い、国の労働力を支える人材を確保できるように改正されています。



■ 外国人市民イベントと日本語初期指導教室の様子  
資料) 移住サポートサービス SMOUT 湖南省公式アカウントより



## 【歴史・伝統文化が豊かなまち】

- ・湖南省は、古くは近江と伊勢を結ぶ伊勢参宮街道として栄えてきたまちです。江戸時代には東海道五十三次の51番目の**石部宿**が置かれ、白い素地と呉須（藍色）が特徴の**近江下田焼**や藍の栽培から織りに至るまでの伝統を守り続けている**正藍染**など、街道を中心とした産業や文化が発展しました。また、市内には「**湖南三山**」と称しそれぞれ国宝の建造物を有する**常楽寺**、**長寿寺**、**善水寺**をはじめ、由緒ある社寺が多くあります。
- ・下田地区で明治以前から栽培されていた**下田なす**、光沢のある鮮やかなオレンジ色が特徴の**弥平とうがらし**などの伝統野菜があります。昭和天皇即位（昭和3年）後、最初の大嘗祭で献上された**東寺献上ごぼう**や朝国地域で一大産地となっていた約220年の歴史がある**朝国しょうが**は、後世に伝統を引き継ぐため復興プロジェクトに取り組みました。
- ・この他にも、伝統工芸品の**近江一閑張**や200年以上の歴史がある酒蔵・蔵元の**北島酒造**があります。

### 【近江下田焼】



■ 湖南省の歴史・文化的資源の一例  
資料) 第二次湖南省環境基本計画 R1.10

### 【長寿寺】



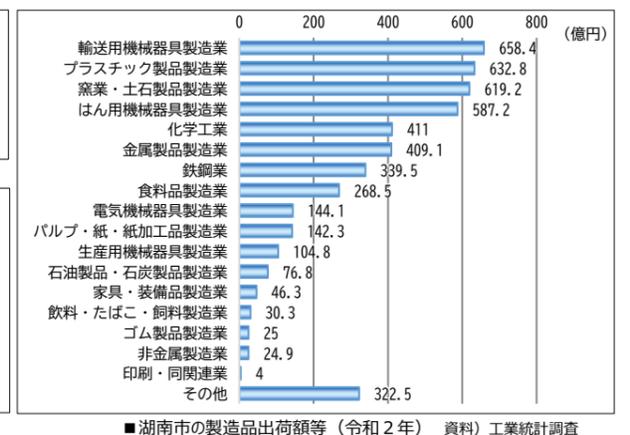
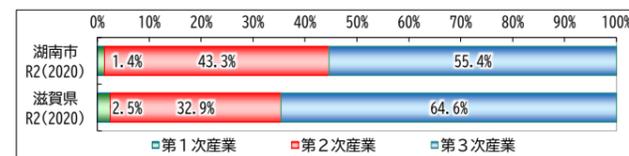
### 【善水寺】



■ 朝国しょうが復興プロジェクト  
資料) 湖南省公式 HP

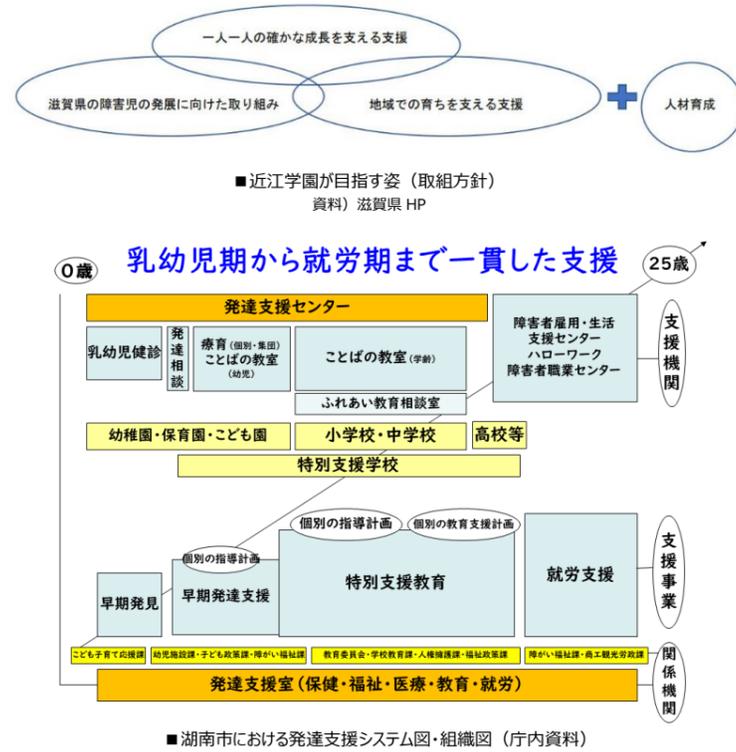
## 【ものづくり（工業）のまち】

- ・市内には、県内最大規模の**湖南工業団地（291ha）**をはじめとした**5つの工業団地**が形成されています。
- ・令和2年時点で、本市では27,177人（分類不能の産業を含む）が就業しており、**第2次産業**が43.3%を占めており、県内では最も高い割合を占めています。
- ・**製造業**については、令和2年時点で事業所数が193、従業者数が11,689人です。平成8年以降、事業所数は横ばいで推移していますが、就業者数は増加傾向が続いています。
- ・令和2年時点における業種別の製造品出荷額等をみると、輸送用機械器具製造業が658.4億円と最も大きく、次いでプラスチック製造業が632.8億円、窯業・土石製品製造業で619.2億円の順となっています。



## 【障がい者と共に歩む福祉のまち】

- ・湖南省には、「**社会福祉の父**」と呼ばれ、我が国の障がい者福祉の基礎づくりに大きく貢献した**糸賀一雄氏**らが設立した**近江学園**が昭和46年に立地、相次いで複数の施設が立地し、特に**障がい者福祉分野での草分けの地**となりました。
- ・湖南省では、障がい者福祉として「**湖南省発達支援システム**」に全国に先駆けて取り組んでいます。このシステムは、乳幼児期から就労まで、教育・福祉・保健・医療・就労の関係各課や関係機関、学校が力を合わせて、子ども、大人・家族を支える、学校においても支援を支えるものであり、開始から20年以上継続されています。



## 【脱炭素に取り組むまち】

- ・湖南省では全国に先駆けて**市民共同発電所**が稼働し、市民が地域に存在する自然エネルギーを共同で利用する先進的な取組がなされていました。
- ・地域資源である自然エネルギーは地域のものであり、その利益は地域内で循環させることにより、地域の支え合いに資するべきである、との考えに基づき、平成24年9月に「湖南省地域自然エネルギー基本条例」を制定しました。
- ・本条例に掲げる基本理念に沿って、地域資源を生かした自然エネルギーの積極的な活用に努め地域が主体となった取り組みを進めるため、平成27年2月に「湖南省地域自然エネルギー地域活性化戦略プラン」を策定し、自然エネルギーを活用した知己主導の取組による持続可能な地域社会構築のための具体的方策を示しました。
- ・平成28年に**自治体地域新電力会社「こなんウルトラパワー株式会社」**を設立し、小売電気事業の利益等を活用し、エネルギー事業者への調査支援の実施や公共施設の省エネルギー診断等を行い、省エネルギーサービス事業を展開しています。
- ・令和4年には、官民連携によるエネルギーと経済の循環として、太陽光発電を活用したエネルギーの一括管理やマイクログリッドの構築、林福連携事業の取組が環境省の「**脱炭素先行地域**」に選定されるなど、**ゼロカーボンシティ**の実現に向けた取組を推進しています。



## 【市民が自らまちをつくるまち】

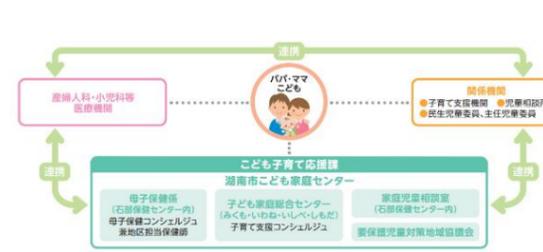
- ・湖南省には、7つの**地域まちづくり協議会**が設立されており、**地域コミュニティプラン**をそれぞれの地域で策定しています。地域コミュニティプランでは、地域の現状や課題を含めて、自分たちが住む地域の将来像や方向性を明らかにし、自らが取り組むまちづくりに向けた活動内容を定めています。各地域では、子どもたちの勉強や工作などの学習支援や生涯学習、健康講座、身近な範囲の歴史・文化資源の環境整備など、特色のある様々な活動が行われています。
- ・また、「**自分たちのまちは自分たちでつくる**」の基本理念をもとに地域まちづくり協議会が設立され、「**湖南省版小規模多機能自治**」は地域まちづくり協議会を基礎とし、市内の中学校区を生活圏域と想定しています。地域では子どもの見守りや高齢者の見守り、災害時の生きた情報の把握に取り組めます。身近な相談窓口として地域の課題を解決していく体制を整備するなど、誰一人取り残さない地域社会の構築を目指しています。



■地域まちづくり協議会における活動の様子

## 【子育てにやさしいまち】

- ・湖南省には、**人口規模1万人あたりの保育所施設を県内で上位3位と高い水準で設置**しており、令和3年以降は**待機児童数0人**を維持しています。
- ・国が令和6年に改正児童福祉法を施行したことを受けて、湖南省では、既存の子育て応援サポートセンターと子ども家庭総合支援拠点とを統合し、新たに**子ども家庭センター「まるっと」**を設置しました。すべての子育て家庭が安心して子育てできるよう、**妊娠期から子育て期までの切れ目ない子育て支援**を行っています。
- ・中学校区ごとの公立保育園やこども園内に子ども家庭総合センターを設置し、住んでいる地域で子育てに対する相談を受けることができます。
- ・子育て中の親の仲間づくり、社会参加を促進するために、地域子育て支援拠点事業等を推進し、日常的に交流できるような環境づくりに努めています。



市町村名	保育施設数	人口	1万人当たりの施設数	利用児童数	待機児童数
草津市	66	147,651	4.47	4,227	0
守山市	36	84,963	4.24	2,423	82
湖南省	21	53,818	3.90	1,300	0
甲賀市	33	86,837	3.80	2,330	0
近江八幡市	30	80,740	3.72	2,104	15

資料) 湖南省公式 HP

資料) 保育所施設数は社会福祉施設等調査、人口は住民基本台帳 R5、待機児童数は保育所等利用待機児童数調査 R5

# 第三次湖南省総合計画（基本構想・基本計画）への反映フロー

外部環境分析、内部環境分析、市民意識調査、総合計画ワークショップの概要から湖南省総合計画（基本構想・基本計画）への反映フローを示します。

### 外部環境分析

#### 〈都市を取り巻く全国的な動向〉

- 暮らしを取り巻く環境
  - 本格的な人口減少・少子高齢化、**子ども施策の推進**
  - SDGs**（持続可能な開発目標）の推進
  - 自然災害の激甚化・頻発化、**防災・減災**対策の推進
  - 感染症対策（新しい生活様式）の定着
  - 脱炭素**の地域づくり推進、環境配慮への投資の拡大
  - GX**（グリーントランスフォーメーション）の推進
  - DX**（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ひとを取り巻く環境
  - 多様な価値観**の尊重（ジェンダー平等、ダイバーシティー）
  - Well-Being**の推進
  - グローバル化、**多文化共生**
- 地方自治、地域自治を取り巻く環境
  - 地方創生の視点でのまちづくりの高まり
  - 市民と行政の**協働**によるまちづくり
  - 民間資本・ノウハウの導入
  - 5G社会における**ICT**（情報通信技術）等の技術革新の成果の有効活用

### 〈湖南省における社会潮流の整理〉

- 暮らしを取り巻く環境（社会、環境、産業、デジタル技術）
  - 人口減少、少子高齢化に対応し、**子どもたちを中心としたまちづくり**が求められています
  - 安心・安全**に住み続けられる地域づくりが求められています
  - 限りある地球の資源**を大切に暮らすや社会経済活動が求められています
  - 地域課題の解決に向けた**デジタル技術**の活用が求められています
- ひとを取り巻く環境（人権、幸福度、グローバル化）
  - 多様な価値観を認め合いながら**人権**を尊重するまちづくりが基本です
  - 価値観やライフスタイルの多様化とともに**地域の幸福度**を高める取組が求められています
- 自治を取り巻く環境（協働のまちづくり、地方創生、持続可能な社会）
  - 新たな**協働**の形を取り入れた住み続けられる地域づくりが求められています
  - 世界的視野と地域特性の最大活用が求められています
  - 経営的視点による持続可能な**行財政運営**が求められています

### 内部環境分析

#### 〈湖南省市の位置・地勢と現況特性〉

- 湖南省市の位置・地勢
  - 大阪、名古屋から100km圏内にあり、古くから交通の要衝として様々な産業や歴史・文化、豊かな居住環境が発展
  - 野洲川付近一帯に平野が開け、水と緑の豊かな自然環境に恵まれた地域
- 人口の動向
  - 総人口は近年微減傾向、世帯数は経年的に増加傾向
  - 少子高齢化が進んでいるが、**生産年齢人口**の割合は6割を超えている
  - 外国人市民**は近年もなお増加傾向
  - 通勤・通学は流出流入で甲賀市、栗東市、草津市が上位
- 産業、交通、都市環境などについて
  - 第2次産業就業者数が4割を超えており、**工業**を中心として発展
  - 観光入込客数は周辺市町と比較して少ない
  - 市内にJR3駅が設置されているが、コロナ禍の影響でR2年から一日平均乗車人数が減少
  - 一戸建て住宅の比率や都市公園面積は県平均以上
  - 市内に保育所等が21施設設置され、**待機児童数は0人**
  - SDGs 未来都市に選定**され、**エネルギー政策**の取組が発展

### 第二次湖南省総合計画後期計画の実施状況（一部）

#### 〈総合計画（第1章～第6章）の施策進捗・目標指標達成状況〉

章	概要
第1章 みんなとともに進めるしくみをつくる	市民活動に対する支援強化によるまちづくり活動団体の支援、市政に対する意見・提案機会の拡充による市民参画等を推進しながら、施策によっては必要に応じて施策内容（方針）を見直します。
第2章 うるおいのあるまちをつくる	脱炭素等を推進しながら、施策によっては施策及び施策内容（方針）を見直す必要があります。
第3章 活気のあるまちをつくる	J R 草津線の複線化の促進や駅周辺環境の向上等を推進しながら、施策によっては施策内容（方針）を見直す必要があります。
第4章 ほっとする暮らしをつくる	市民協働による地域福祉活動等を推進しながら、施策によっては施策及び施策内容（方針）を見直す必要があります。
第5章 いきいきとした暮らしをつくる	若者の社会参画への参加等を推進しながら、施策によっては施策内容（方針）を見直す必要があります。
第6章 明日を拓くしくみをつくる	総合型マネジメントシステムによる事務事業の改善による行政改革の推進や研修制度の充実による業務能力の向上による地方分権化に対応した人材の育成等を推進しながら、施策によっては必要に応じて施策内容（方針）を見直します。

### 市民意向調査

#### 定住意向、住みやすさ

##### ■定住意向

「住み続けたい（「住みたい」「どちらかといえば住みたい」の計）の割合が**70.8%**と高い。

住み続けたい	32.8%
どちらかといえば住みたい	38.0%
どちらかといえば住みたくない	7.5%
住みたくない（できれば市外へ引っ越したい）	4.3%
無回答	0.9%

##### ■住みやすさ

「住みやすい（「住みやすい」「どちらかというに住みやすい」の合計）は**62.4%**となっている。

住みやすい	20.6%
どちらかというに住みやすい	41.8%
どちらかというに住みにくい	20.0%
住みにくい	5.6%
わからない	6.2%
無回答	5.9%

#### “住みやすい”、“住みにくい”と思う理由

##### ■“住みやすい”理由

- 1位：**安全で安心なまち**から（52.1%）
- 2位：**買物が便利**だから（39.6%）
- 3位：**近所の人たちがあたたかい**から（32.6%）

##### ■“住みにくい”理由

- 1位：**交通が不便**だから（71.7%）
- 2位：**買物が不便**だから（48.1%）
- 3位：**医療福祉のサービスや施設が十分でない**から（34.7%）

#### みんなが住み続けたい湖南省のまちのイメージ

- 1位：**道路や公共交通が快適で便利**なまち（49.1%）
- 2位：**高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉**のまち（43.4%）
- 3位：**犯罪や事故のない安全で安心**なまち（37.5%）

#### 湖南省の取組について

##### ■満足度（上位）

- 1位：上下水道の整備（0.71）
- 2位：循環型社会の形成・身近な公園・緑地の整備（0.25）
- 4位：環境の保全（0.24）

##### ■重要と思う取組

- 1位：公共交通の充実（32.9%）
- 2位：医療の充実（24.0%）
- 3位：道路網、河川の整備（15.4%）

##### ■満足度（ワースト）

- 1位：公共交通の充実（-0.66）
- 2位：商業の振興（-0.16）
- 3位：効率的な行財政運営の推進（-0.14）

・インフラ施設や環境保全の取組に対する満足度が高い。  
・市民が重要だと思う取組として、公共交通やインフラ施設、医療の充実など、ライフライン関係を重視している。

### 総合計画ワークショップ

#### 第1回：市の魅力や改善点、取り上げたいテーマについて話し合おう！

令和6年12月15日実施

- 総合計画とは
- 市民意向調査結果
- まちづくりの現状
- テーマの設定

市民意向調査結果を参考に、湖南省のまちづくりの現状について、良いところや改善したいところをグループで話し合い、取り上げたいテーマ〈政策目標〉を決定する。

#### 第2回：テーマに沿って重要な取組や方向性について話し合おう！

令和7年1月19日開催予定

- 重要と考える施策の設定
- 解決に向けた方針のまとめ

前回設定したテーマに沿ってグループで話し合い、本ワークショップで取り組む**重要施策**を決定する。今後の課題をグループでまとめ、方向性〈方針〉をまとめる。

#### 第3回：重要な取組や方向性に沿って、企画アイデアを話し合おう！

令和7年2月16日開催予定

- 企画アイデアのまとめ

前回まとめた方向性に沿ってグループで話し合い、**施策**を実現するための**企画アイデア**〈事業案〉をまとめる。

#### 第4回：全体を振り返りみんなでつくる将来のまちの姿をまとめよう！

令和7年3月16日開催予定

- 発表
- 振り返り
- みんなでつくる将来のまちの姿のまとめ

第1～3回の内容をグループごとに発表し、全体で振り返り、本ワークショップでの「みんなでつくる将来のまちの姿」〈基本構想イメージ〉をまとめる。